



火事・救急

火事と救急は119番

119番通報するとき

通報時、指令員が必要なことを伺います。

安全なところから、あわてず、ゆっくりとお答えください。

① 「119番・とかち消防です。」

「火事ですか?」「救急ですか?」

→ 【火事です】 【救急です】

② 「住所は、どこですか?」 (最初に市町村名)

→ 例【清水町〇〇条〇〇丁目〇〇番地〇】

(住所が分からない場合は、付近の分かりやすい建物等を、お答えください。)

③ 「何が(誰が) どうしましたか?」

→火災の場合：何が燃えているのかなどの状況(住宅の2階から火がでています。住人は避難しています。…など)

救急の場合：急病、交通事故などとあわせて、年齢、性別や症状…など

④ 「最後に、あなたの名前は?」

(通報されている方のお名前を教えてください。)

消防署からのお願い

※救急の場合、心肺蘇生法等の応急手当の方法を指導しますので実施してください。

※「サイレンを鳴らさないで」との通報があります。法令により、消防車・救急車等はサイレンを鳴らさないで緊急走行ができませんので、ご理解願います。

携帯電話からの119番通報

運転中は、必ず安全な場所に停車してから通報してください。

①通報時、電波の状態が悪い場合は、移動するなどしてから通報してください。

②通報後も電源を切らずに待っていてください。

③十勝管内からの通報であっても場所により、とかち広域消防局以外につながる場合がありますが、とかち広域消防局から出動します。

ファックスからの119番通報

消防指令センターでは主に耳や言葉の不自由な方向けにファックスからの119番通報を受け付けています。

◆通報の流れ

- (1) ファックスに通報内容を書いた用紙をセットし、局番なしの119番に送信してください。
- (2) 折り返し、消防指令センターから通報者へ受信確認書のファックスを返信します。

※必ず受信確認書を返信しますので、返信が届かない場合は、もう一度ファックスするか、別の手段で通報してください。

用紙をセットするときは、用紙の向きに注意してください。

あわてて用紙を裏・表逆にセットし白紙のファックスが送られてきたという事例もあります。

◆必ず書いて欲しいこと

- 火災、救急の別
- 住所を市町村名から番地まで正確に(建物名称がある場合は、建物名称や部屋番号)
- 氏名
- 年齢
- どうしたか、どこにいたか、どこのなにが燃えているのか、わかる範囲で

すぐに送信できるようあらかじめ住所など必要項目を記入した用紙を機械のそばに用意しておくことで迅速な通報ができます。

※特に定められた様式はありません。

消防団員募集

大切なまち、大切な人を守るために。

1. 入団には条件があります。

- 当該消防団の区域内に居住又は勤務する人
- 18歳以上の人
- 団員としての志を有し、身体が丈夫で健康な人

2. 入団手続き・問い合わせ

清水消防団……清水消防署 庶務係
TEL0156-62-2519

御影消防団……御影分遣所 消防係
TEL0156-63-2212

概要
特集
届出証明年金
税金・保険
健康・福祉介護
子育て・教育
暮らしと環境
産業
議会・選挙
公共施設
コミバス交通
防災
火事・救急
ふるさと納税
テレホンガイド

通報から災害活動までの流れ



携帯電話からの119番通報

運転中は、必ず安全な場所に停車してから通報してください。

- 1 通報時、電波の状態が悪い場合は、移動するなどしてから通報してください。
- 2 通報後も電源を切らずに待ってください。
- 3 十勝管内からの通報であっても場所により、とかち広域消防局以外につながる場合がありますが、とかち広域消防局から出動します。

災害案内

☎ (0180) 99-1198

北海道救急医療情報案内センター

☎ (0120) 20-8699

📱 (011) 221-8699

※けがや急病時、医療機関の情報を24時間提供しています。

住宅防火

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策 —

◆3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

◆4つの対策

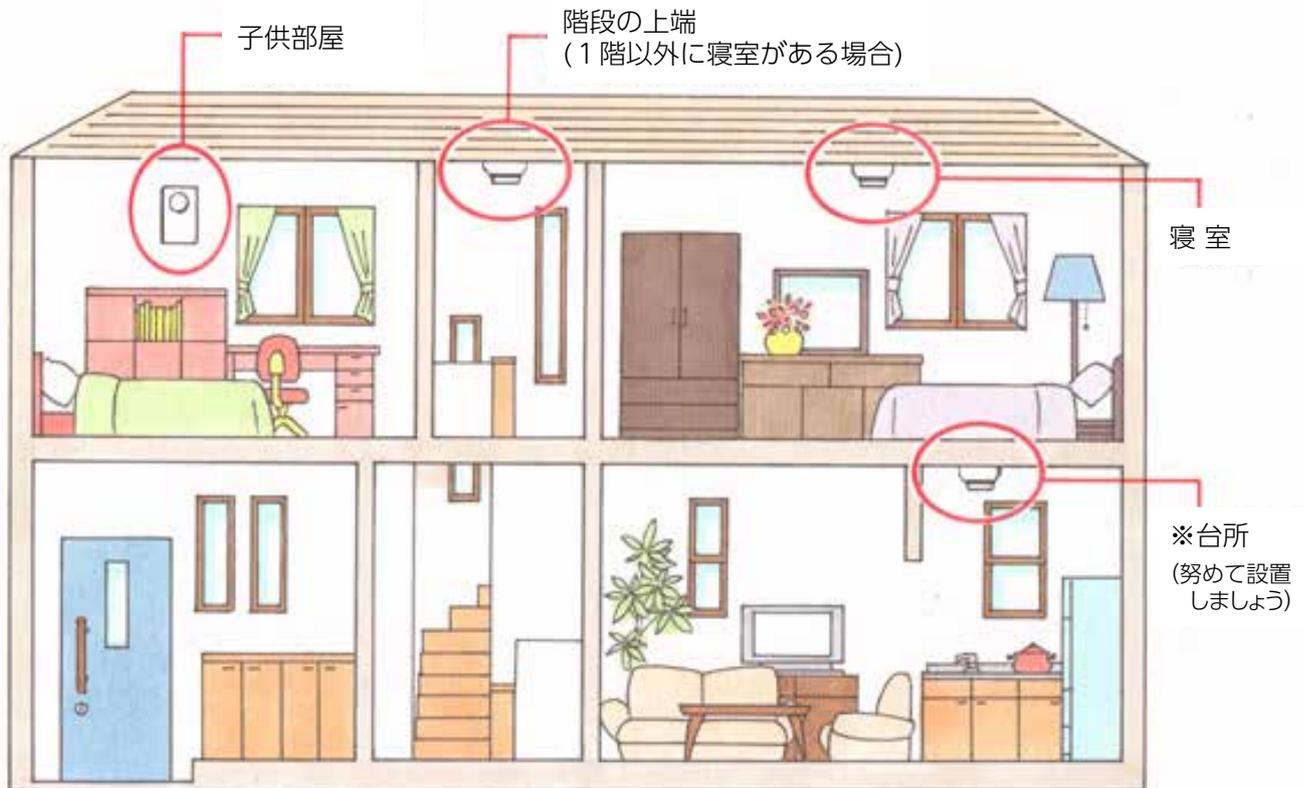
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器を設置しましょう

◆火災を早く知るために！

住宅用火災警報器は、火災の熱や煙を感知して、警報で知らせてくれるので火災の早期発見に大変有効です。

設置例 2階建てで2階に寝室がある場合



万一火災が発生しても、住宅用火災警報器を設置していれば、火災にいち早く気づき、早期避難が出来ます。

火災から尊い命や財産を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

◆住宅用火災警報器の設置義務

- とちぎ広域消防事務組合火災予防条例により全ての住宅に住宅用火災警報器の設置を義務づけられています。

◆住宅用火災警報器の設置義務から10年

- 設置義務化から10年を経過し、電池切れや本体故障により適切に作動しないケースが懸念されます。点検・交換を行いましょ。

◆住宅用火災警報器の設置例と種類

- 寝室や階段への取付けは義務付けられています。(煙式)
- 台所や居間など、出火しやすい箇所にも努めて設置しましょう。(煙式)

概要
特集
届出証明年金
税金・保険
健康・福祉・介護
子育て・教育
暮らしと環境
産業
議会・選挙
公共施設
コミバス・交通
防災
火事・救急
ふるさと納税
テレホンガイド

応急手当講習会の案内

様々な原因で心肺停止に陥った人に対して救急隊が到着するまでの間に、その場に居合わせた皆さんが心肺蘇生法を行うことで救命率が高まります。

消防署では万が一の事態に尊い命を繋ぐため、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱いを含む講習会を開催しています。

講習会の受講を希望する個人又は団体の人は、清水消防署救急係62-2519までお問い合わせください。

応急手当講習の種類と内容

◆普通救命講習（3時間講習）

心肺蘇生法（AED・自動体外式除細動器の取扱いを含む）、止血法等の応急手当

◆上級救命講習（8時間講習）

普通救命講習の内容に心肺蘇生法（2人法）、傷病者管理、外傷の手当、搬送法等を加えた講習。

◆一般救急講習（1時間程度）

講習内容・講習時間は受講者と打合せの上で、決定して実施する講習。

胸骨圧迫のやり方

- 1 胸の真ん中（胸の左右真ん中にある胸骨の下半分）を目安に手を置き、もう一方の手を重ねる。
- 2 肘を伸ばして垂直に圧迫する。
※両手で胸が約5cm沈むくらい圧迫。
- 3 1分間に100～120回のテンポで、絶え間なく行う。

AED（自動体外式除細動）の使い方

◆使用前に…

まず、呼びかけに対して反応が無いことと、普段通りの呼吸をしていないことを確認します。

心停止には、電気ショックの適応である「心室細動」と呼ばれる心臓が細かく震えている状態の場合と、完全に停止している場合があります。AEDは電気ショックの適応の有無を自動的に判断してくれます。電気ショックが必要でない場合、「電気ショックは不要です」と指示をしてきます。

「電気ショックは不要です」＝「心臓が動いている！回復した！」ではありません。

AEDが「電気ショックは不要です」と指示してきた時、倒れている人に反応がなく普段通りの呼吸をしていない場合、必ず胸骨圧迫を行って下さい。

1. AEDが到着したらすぐに電源を入れます。機種によっては、AEDのフタをあけると自動で電源が入るものもあります。

2. 倒れている人の衣服を取り除き、胸をはだけます。AEDのケースに入っている電極パッドの1枚を胸の右上（鎖骨の下）に、もう1枚を左のわきの下から5～8cm下の素肌に直接貼り付けます。電極パッドを貼る間もできるだけ胸骨圧迫を続けます。

3. 「離れてください。心電図の解析中です」との音声メッセージとともに、AEDが自動的に解析を始めます。

4. 電気ショックが必要な場合は「ショックが必要です」と音声でその必要性を教えてください。周囲の人が倒れている人に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。

5. 電気ショックの後は直ちに胸骨圧迫を再開します。AEDの指示に従い、約2分おきに心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。

注意：AEDのパッドは救急隊が到着するまで貼ったままにしておいてください。またAEDの電源も切らないでください。

知っておきたい応急手当

◆傷の手当

- 小さな傷の場合、傷口を水道水で洗い流す。
- 傷が乾かない絆創膏をはる。
- 大きな傷の場合、感染防止のためビニール袋を用いて、傷口を清潔なガーゼなどで強く押さえて止血する。
- 止血が出来た場合、その状態で病院へ行く。
- 止血が出来ない場合、119番通報して指示を仰ぐ。
- 手足を切断されるような傷で大出血している場合、傷口を清潔なガーゼで強く抑えてすぐに119番通報して指示を仰ぐ。

◆骨折の手当

- 骨折した部分を厚目の雑誌と三角巾などを使って固定する。
- 骨折した部分を安静にして病院で診察を受ける。

◆やけどの手当

- やけどをした部分が小さい場合、水道水で10分程度冷やす。この時、直接蛇口からの水にやけどをした部分が当たらないようにします。
- 衣服を身に付けている場合は、そのまま冷やす。
- やけどをした部分が大きい場合、すぐに119番通報して指示を仰ぐ。